

## 損保ジャパン 高金利外国債券オープン （毎月分配型）

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	無期限	
運用方針	<p>①主として北米（米国、カナダ）、欧州、アジア／オセアニア（日本を除く）の国債、州政府債、政府保証債、政府系機関債、国際機関債等に分散投資します。</p> <p>②投資対象国は、原則としてA格相当以上の長期債格付が付与された国とし、F T S E世界国債インデックス採用国を中心とします。</p> <p>③各国の投資比率については、各国の政治・経済動向の変化や市況動向に基づく相対的魅力度、流動性、市場規模等を勘案しつつ、前記の各地域の中で相対的に金利が高い国への比重を高め、ポートフォリオを構築します。</p> <p>④実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。</p> <p>⑤毎月決算を行い、組入れ債券の利息等収益を中心に、安定的な分配を行います。</p>	
主要投資対象	損保ジャパン高金利外国債券オープン(毎月分配型)	「損保ジャパン高金利外国債券マザーファンド」受益証券
	損保ジャパン高金利外国債券マザーファンド	日本を除く世界各国の公社債
主な組入制限	損保ジャパン高金利外国債券オープン(毎月分配型)	外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。
	損保ジャパン高金利外国債券マザーファンド	外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	<p>毎決算時に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。</p> <p>①分配対象額の範囲は、繰越分を含めた利子、配当収入と売買益（評価損益を含みます）等の全額とします。</p> <p>②収益分配金額は、委託会社が基準価額水準、市場動向等を勘案して決定します。原則として、利子、配当収入等を中心に安定分配を行います。ただし、基準価額水準、市場動向等によっては分配を行わないことがあります。</p>	

第125期（決算日	2017年12月25日）
第126期（決算日	2018年1月24日）
第127期（決算日	2018年2月26日）
第128期（決算日	2018年3月26日）
第129期（決算日	2018年4月24日）
第130期（決算日	2018年5月24日）

### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。  
さて、「損保ジャパン高金利外国債券オープン（毎月分配型）」は、このたび第130期の決算を行いましたので、第125期～第130期中の運用状況をご報告申し上げます。  
今後とも引き続きお引立て賜りますようお願い申し上げます。



損保ジャパン日本興亜アセットマネジメント

東京都中央区日本橋二丁目2番16号 共立日本橋ビル



<http://www.sjnk-am.co.jp/>

お問い合わせ先



クライアントサービス第二部 0120-69-5432

（受付時間 営業日の午前9時～午後5時）

## ■最近5作成期の運用実績

作成期	決算期	基準価額 (分配落)	標準騰落率			債券組入率	純資産額
			税分配	込金	騰落		
		円	円		%	%	百万円
第18作成期	101期（2015年12月24日）	8,478	25		△1.3	91.2	453
	102期（2016年1月25日）	8,218	25		△2.8	95.6	439
	103期（2016年2月24日）	7,877	25		△3.8	94.8	420
	104期（2016年3月24日）	7,964	25		1.4	93.0	425
	105期（2016年4月25日）	7,935	25		△0.1	92.2	424
	106期（2016年5月24日）	7,700	25		△2.6	94.5	411
第19作成期	107期（2016年6月24日）	7,059	25		△8.0	94.4	377
	108期（2016年7月25日）	7,448	25		5.9	92.8	398
	109期（2016年8月24日）	7,111	25		△4.2	91.7	380
	110期（2016年9月26日）	7,061	25		△0.4	90.9	378
	111期（2016年10月24日）	7,076	25		0.6	90.2	378
	112期（2016年11月24日）	7,395	25		4.9	89.5	396
第20作成期	113期（2016年12月26日）	7,581	25		2.9	90.2	405
	114期（2017年1月24日）	7,458	25		△1.3	90.2	399
	115期（2017年2月24日）	7,442	25		0.1	89.6	397
	116期（2017年3月24日）	7,324	25		△1.2	89.6	391
	117期（2017年4月24日）	7,288	25		△0.2	88.8	389
	118期（2017年5月24日）	7,438	25		2.4	92.5	397
第21作成期	119期（2017年6月26日）	7,399	25		△0.2	92.3	395
	120期（2017年7月24日）	7,473	25		1.3	91.9	399
	121期（2017年8月24日）	7,357	25		△1.2	94.8	392
	122期（2017年9月25日）	7,603	25		3.7	93.3	405
	123期（2017年10月24日）	7,550	25		△0.4	92.0	402
	124期（2017年11月24日）	7,412	25		△1.5	89.8	394
第22作成期	125期（2017年12月25日）	7,490	25		1.4	93.3	398
	126期（2018年1月24日）	7,425	25		△0.5	91.5	394
	127期（2018年2月26日）	7,112	25		△3.9	92.2	377
	128期（2018年3月26日）	6,983	25		△1.5	93.5	370
	129期（2018年4月24日）	7,104	25		2.1	92.7	377
	130期（2018年5月24日）	7,014	25		△0.9	91.7	372

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 基準価額及び分配金は1万円当たり（以下同じ）。

(注3) 債券組入比率はマザーファンドへの投資割合に応じて算出された当ファンドベースの組入比率。

(注4) 当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、主として北米（米国、カナダ）、欧州、アジア/オセアニア（日本を除く）の国債、州政府債、政府保証債、政府系機関債、国際機関債等に分散投資を行うファンドです。そのため、当ファンドのコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載していません。

■第125期～第130期の基準価額と市況等の推移

決算期	年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		債 券 組 入 比 率
			騰	落	
第125期	(期 首) 2017年11月24日	円 7,412		% -	% 89.8
	11月末	7,444		0.4	89.5
	(期 末) 2017年12月25日	7,515		1.4	93.3
第126期	(期 首) 2017年12月25日	7,490		-	93.3
	12月末	7,518		0.4	93.2
	(期 末) 2018年1月24日	7,450		△0.5	91.5
第127期	(期 首) 2018年1月24日	7,425		-	91.5
	1月末	7,345		△1.1	93.2
	(期 末) 2018年2月26日	7,137		△3.9	92.2
第128期	(期 首) 2018年2月26日	7,112		-	92.2
	2月末	7,112		0.0	93.6
	(期 末) 2018年3月26日	7,008		△1.5	93.5
第129期	(期 首) 2018年3月26日	6,983		-	93.5
	3月末	7,051		1.0	93.5
	(期 末) 2018年4月24日	7,129		2.1	92.7
第130期	(期 首) 2018年4月24日	7,104		-	92.7
	4月末	7,121		0.2	92.7
	(期 末) 2018年5月24日	7,039		△0.9	91.7

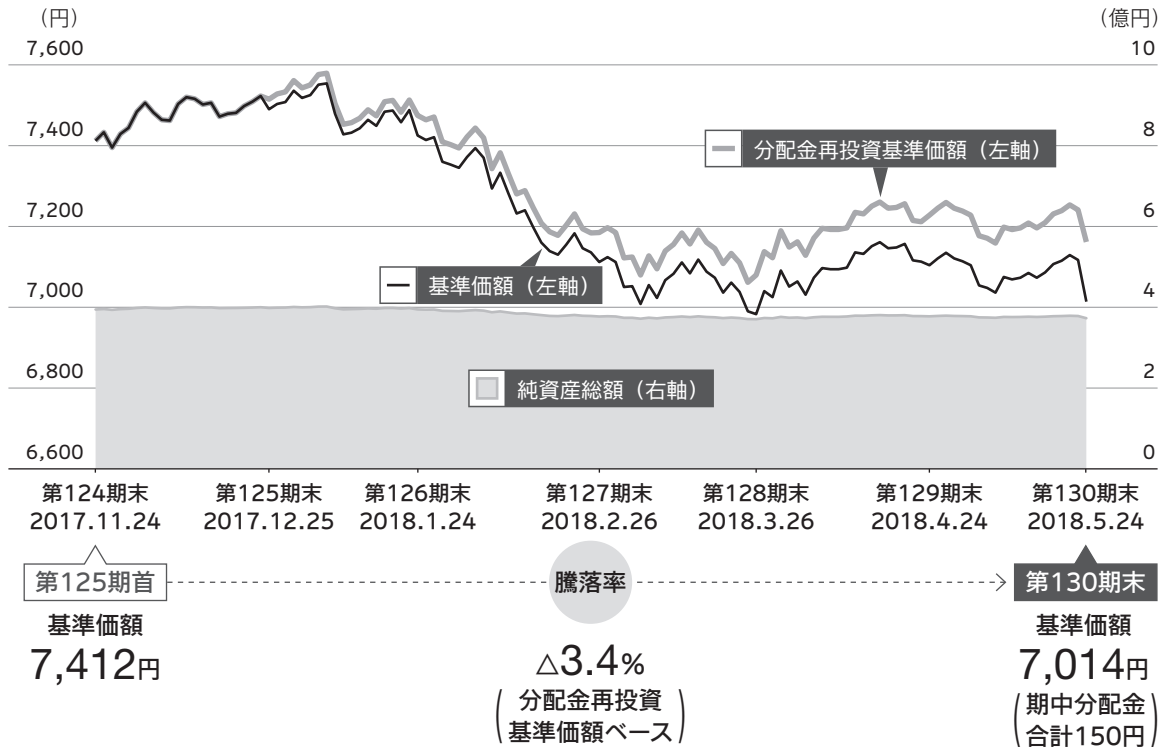
(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

(注2) 債券組入比率はマザーファンドへの投資割合に応じて算出された当ファンドベースの組入比率。

(注3) 当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、主として北米（米国、カナダ）、欧州、アジア/オセアニア（日本を除く）の国債、州政府債、政府保証債、政府系機関債、国際機関債等に分散投資を行うファンドです。そのため、当ファンドのコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

## 運用経過

### ● 基準価額の推移



- 分配金再投資基準価額の推移は、2017年11月24日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
- 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- 当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、主として北米（米国、カナダ）、欧州、アジア／オセアニア（日本を除く）の国債、州政府債、政府保証債、政府系機関債、国際機関債等に分散投資を行うファンドです。そのため、当ファンドのコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

## ● 基準価額の主な変動要因

### 損保ジャパン高金利外国債券オープン（毎月分配型）

マザーファンドの騰落率がマイナスとなったため、分配金再投資基準価額ベースの騰落率はマイナスとなりました。

### 損保ジャパン高金利外国債券マザーファンド

期中の騰落率は－2.9%となりました。

各国の利回りが上昇し債券価格が下落したことや、円高が進んだことから、騰落率はマイナスとなりました。

- 本報告書では、ベビーファンドとマザーファンドを下記の様に統一して表記しています。

 ベビーファンド    マザーファンド

## ● 投資環境

### 【債券市場】

#### ○米国債券市場

当期末の利回りは前期末と比べて上昇しました。

原油価格の上昇を受けた期待インフレ率の上昇や、トランプ政権の大幅減税による財政悪化への警戒感などを背景に、利回りは上昇しました。

#### ○英国債券市場

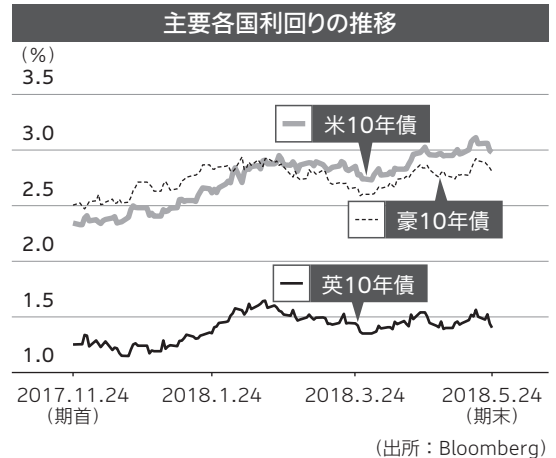
当期末の利回りは前期末と比べて上昇しました。

労働需給が逼迫し、賃金上昇率が加速する中、BOE（イングランド銀行）による利上げ観測を背景に利回りは上昇傾向となりました。

#### ○豪州債券市場

当期末の利回りは前期末と比べて上昇しました。

インフレ率の伸びが緩やかな中、RBA（オーストラリア準備銀行）は金融政策を据え置きましたが、米国債券の利回りが上昇したことなどをを受けて、利回りは上昇傾向となりました。



【為替市場】

○ドル円市場

当期末は前期末に比べて円高ドル安となりました。

トランプ政権の保護主義的な通商政策への警戒感が広がるとともに、世界的な株価下落によりリスク回避傾向が高まったことなどから、円高ドル安傾向となりました。

○ポンド円市場

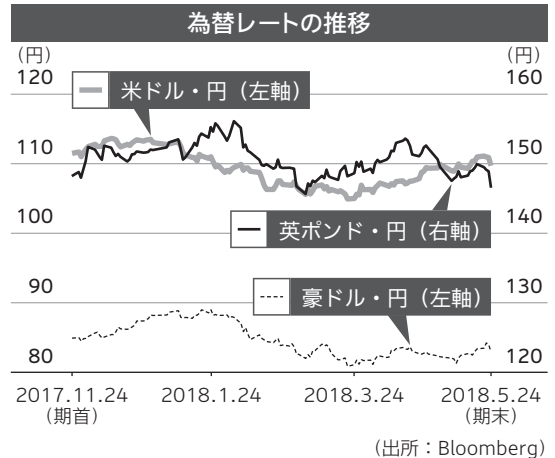
当期末は前期末に比べて円高ポンド安となりました。

2月初旬にかけては、BOE（イングランド銀行）による利上げ観測を背景にポンドが上昇しましたが、その後は、世界的な株価下落によりリスク回避傾向が高まったことなどから、円高ポンド安となりました。

○豪ドル円市場

当期末は前期末に比べて円高豪ドル安となりました。

1月にかけては、主要輸出品である鉄鉱石価格が堅調に推移したことなどから、豪ドルが上昇しましたが、その後は、世界的な株価下落によりリスク回避傾向が高まったことなどから、円高豪ドル安となりました。



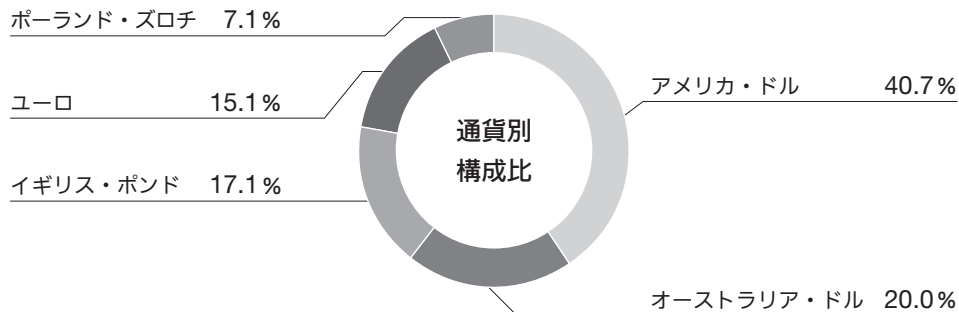
注. 為替レートは対顧客電信売相場場の仲値を使用しております。

## ● 当該投資信託のポートフォリオ

当ファンドの運用については、損保ジャパン高金利外国債券マザーファンドの組入比率を高位に維持しました。

### 損保ジャパン高金利外国債券マザーファンド

債券の組入れにつきましては、米国を中心とした北米を40%程度、英国を中心とした欧州を40%、豪州を中心としたアジア／オセアニアを20%程度として、分散投資を意識したポートフォリオ構成としました。



注1. 比率は、第130期末における組入債券評価額に対する割合。

注2. 端数処理の関係上、構成比合計が100%と異なる場合があります。

## ● 当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、主として北米（米国、カナダ）、欧州、アジア／オセアニア（日本を除く）の国債、州政府債、政府保証債、政府系機関債、国際機関債等に分散投資を行うファンドです。そのため、当ファンドのコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。



## ● 分配金

収益分配金については、基準価額水準、市場動向等を勘案し、合計で150円の分配を行いました。なお、収益分配に充てなかった収益は、信託財産に留保し、運用の基本方針に基づいて引き続き元本と同一の運用を行います。

### 分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり・税引前）

項目	第125期	第126期	第127期	第128期	第129期	第130期
	2017.11.25 } 2017.12.25	2017.12.26 } 2018. 1 .24	2018. 1 .25 } 2018. 2 .26	2018. 2 .27 } 2018. 3 .26	2018. 3 .27 } 2018. 4 .24	2018. 4 .25 } 2018. 5 .24
<b>当期分配金</b>	<b>25</b>	<b>25</b>	<b>25</b>	<b>25</b>	<b>25</b>	<b>25</b>
（対基準価額比率）	0.33%	0.34%	0.35%	0.36%	0.35%	0.36%
当期の収益	25	23	23	20	25	21
当期の収益以外	－	1	1	4	－	3
翌期繰越分配対象額	426	424	423	419	420	417

注1. 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

注2. 円未満は切り捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税引前）に合致しない場合があります。

注3. 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

**決算期毎にインカム収入<sup>\*</sup>を中心に分配を行うことを目指すファンドです。**

※ インカム収入とは、債券の利子収入等をいいます。

- ・ファンドに蓄積された過去の運用成果（分配原資）を加味する場合があります。
- ・投資対象資産や為替の値動き等により基準価額が下落した場合でも、原則として、インカム収入相当については、分配を行います。

## ● 今後の運用方針

### 損保ジャパン高金利外国債券オープン（毎月分配型）

今後も、損保ジャパン高金利外国債券マザーファンドの組入水準を高位に維持することで、中長期的なトータルリターンの向上を目指します。

### 損保ジャパン高金利外国債券マザーファンド

今後も、インカムゲインを重視しつつ、投資妙味が高いと考えられる銘柄の組入れにより、中長期的なトータルリターンの向上を目指します。

国別配分では、相対的に投資魅力度が高いと考える、米国や英国、豪州のウェイトを高位に保ち、引き続き分散投資を行う方針です。

## ● 1万口当たりの費用明細

期中の総費用率は **0.608%** です。

項目	第125期～第130期 2017.11.25～2018.5.24		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	41円	0.562%	(a)信託報酬＝各期中の平均基準価額×信託報酬率（年率）× $\frac{\text{各期の日数}}{\text{年間の日数}}$ <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">期中の平均基準価額は7,246円です。</div>
（投信会社）	(19)	(0.268)	ファンドの運用の対価
（販売会社）	(19)	(0.268)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
（受託会社）	( 2)	(0.026)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) その他費用	3	0.046	(b)その他費用＝ $\frac{\text{各期中のその他費用}}{\text{各期中の平均受益権口数}}$
（保管費用）	( 3)	(0.044)	有価証券等の保管等のために、海外の銀行等に支払う費用
（監査費用）	( 0)	(0.002)	監査法人に支払うファンドの監査にかかる費用
（その他）	( 0)	(0.000)	信託事務の処理にかかるその他の費用等
<b>合計</b>	<b>44</b>	<b>0.608</b>	

注1. 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

注2. 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

注3. 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■親投資信託受益証券の設定、解約状況

（2017年11月25日から2018年5月24日まで）

	第 125 期 ~ 第 130 期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
損保ジャパン高金利外国債券マザーファンド	千口 —	千円 —	千口 8,312	千円 10,600

（注1）単位未満は切捨て。

（注2）金額は受渡代金。

■利害関係人との取引状況（2017年11月25日から2018年5月24日まで）

当ファンド及びマザーファンドにおける当期中の利害関係人との取引はございません。

■組入資産の明細

○親投資信託残高

（2018年5月24日現在）

	期首（第124期末）	第 130 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
損保ジャパン高金利外国債券マザーファンド	千口 304,166	千口 295,854	千円 371,060

（注1）単位未満は切捨て。

（注2）当ファンドは、第130期末において、直接投資をする株式及び新株予約権証券の組入れはありません。

■投資信託財産の構成

（2018年5月24日現在）

項 目	第 130 期 末	
	評 価 額	比 率
損保ジャパン高金利外国債券マザーファンド	千円 371,060	% 99.1
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	3,475	0.9
投 資 信 託 財 産 総 額	374,536	100.0

（注1）評価額の単位未満は切捨て。

（注2）損保ジャパン高金利外国債券マザーファンドにおいて、第130期末における外貨建資産（674,250千円）の投資信託財産総額（702,017千円）に対する比率は、96.0%です。

（注3）外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、第130期末における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=109.69円、1オーストラリア・ドル=82.96円、1イギリス・ポンド=146.52円、1ポーランド・ズロチ=29.85円、1ユーロ=128.38円です。

## ■資産、負債、元本および基準価額の状況

項 目	(2017年12月25日現在)	(2018年1月24日現在)	(2018年2月26日現在)	(2018年3月26日現在)	(2018年4月24日現在)	(2018年5月24日現在)
	第125期末	第126期末	第127期末	第128期末	第129期末	第130期末
a 資産	400,013,999円	396,698,623円	378,837,725円	372,044,994円	379,207,539円	374,536,017円
コール・ローン等	3,173,377	3,612,788	3,521,843	3,409,570	3,497,815	3,475,569
損保ジャパン高金利外国債券 マザーファンド(評価額)	396,840,622	393,085,835	375,315,882	368,635,424	375,709,724	371,060,448
b 負債	1,714,133	2,066,413	1,723,129	1,653,167	1,669,557	1,681,912
未払収益分配金	1,329,410	1,328,815	1,325,694	1,326,015	1,328,630	1,329,009
未払解約金	—	364,613	1	—	—	—
未払信託報酬	383,270	371,578	395,936	325,815	339,512	351,574
その他未払費用	1,453	1,407	1,498	1,337	1,415	1,329
c 純資産総額(a - b)	398,299,866	394,632,210	377,114,596	370,391,827	377,537,982	372,854,105
元本	531,764,335	531,526,376	530,277,759	530,406,147	531,452,068	531,603,787
次期繰越損益金	△133,464,469	△136,894,166	△153,163,163	△160,014,320	△153,914,086	△158,749,682
d 受益権総口数	531,764,335口	531,526,376口	530,277,759口	530,406,147口	531,452,068口	531,603,787口
1万口当たり基準価額(c / d)	7,490円	7,425円	7,112円	6,983円	7,104円	7,014円

(注1) 期末における1口当たりの純資産総額

第125期0.7490円、第126期0.7425円、第127期0.7112円、第128期0.6983円、第129期0.7104円、第130期0.7014円

(注2) 期末における元本の欠損金額

第125期133,464,469円、第126期136,894,166円、第127期153,163,163円、第128期160,014,320円、第129期153,914,086円、第130期158,749,682円

## ■損益の状況

項 目	自2017年11月25日 至2017年12月25日	自2017年12月26日 至2018年1月24日	自2018年1月25日 至2018年2月26日	自2018年2月27日 至2018年3月26日	自2018年3月27日 至2018年4月24日	自2018年4月25日 至2018年5月24日
	第125期	第126期	第127期	第128期	第129期	第130期
a 配当等収益	△ 176円	△ 174円	△ 172円	△ 74円	△ 38円	△ 153円
支払利息	△ 176	△ 174	△ 172	△ 74	△ 38	△ 153
b 有価証券売買損益	5,857,573	△ 1,783,576	△ 14,866,473	△ 5,160,408	8,074,301	△ 3,109,275
売買益	5,861,675	3,375	32,910	43	8,074,300	—
売買損	△ 4,102	△ 1,786,951	△ 14,899,383	△ 5,160,451	1	△ 3,109,275
c 信託報酬等	△ 384,723	△ 372,985	△ 397,434	△ 327,152	△ 340,962	△ 352,924
d 当期損益金(a + b + c)	5,472,674	△ 2,156,735	△ 15,264,079	△ 5,487,634	7,733,301	△ 3,462,352
e 前期繰越損益金	△114,778,206	△110,358,914	△113,540,428	△130,127,265	△136,940,914	△130,536,205
f 追加信託差損益金 (配当等相当額)	△ 22,829,527	△ 23,049,702	△ 23,032,962	△ 23,073,406	△ 23,377,843	△ 23,422,116
(配当等相当額)	( 2,753,924)	( 2,793,709)	( 2,794,661)	( 2,800,837)	( 2,844,784)	( 2,853,557)
(売買損益相当額)	(△ 25,583,451)	(△ 25,843,411)	(△ 25,827,623)	(△ 25,874,243)	(△ 26,222,627)	(△ 26,275,673)
g 合計(d + e + f)	△132,135,059	△135,565,351	△151,837,469	△158,688,305	△152,585,456	△157,420,673
h 収益分配金	△ 1,329,410	△ 1,328,815	△ 1,325,694	△ 1,326,015	△ 1,328,630	△ 1,329,009
次期繰越損益金(g + h)	△133,464,469	△136,894,166	△153,163,163	△160,014,320	△153,914,086	△158,749,682
追加信託差損益金	△ 22,829,527	△ 23,049,702	△ 23,032,962	△ 23,073,406	△ 23,377,843	△ 23,422,116
(配当等相当額)	( 2,754,280)	( 2,795,042)	( 2,794,961)	( 2,800,954)	( 2,847,167)	( 2,853,694)
(売買損益相当額)	(△ 25,583,807)	(△ 25,844,744)	(△ 25,827,923)	(△ 25,874,360)	(△ 26,225,010)	(△ 26,275,810)
分配準備積立金	19,939,699	19,789,300	19,657,363	19,425,771	19,518,052	19,357,677
繰越損益金	△130,574,641	△133,633,764	△149,787,564	△156,366,685	△150,054,295	△154,685,243

(注1) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 信託報酬等には、消費税相当額を含めて表示しております。

(注3) 追加信託差損益金とは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

注記事項（第125期～第130期）

第125期

- ・信託財産に係る期首元本額・期中追加設定元本額及び期中一部解約元本額

期首元本額	532,156,708円
期中追加設定元本額	225,527円
期中一部解約元本額	617,900円

- ・分配金の計算過程

計算期間末に、経費控除後の配当等収益（1,530,077円）（本ファンドに帰属すべき親投資信託の配当等収益を含む）、収益調整金（2,754,280円）及び分配準備積立金（19,739,032円）を対象収益（24,023,389円）として、委託者が基準価額の水準、市況動向等を勘案した結果、配当等収益から1,329,410円（1万円当たり25円）を分配に充てることに決定しました。

第126期

- ・信託財産に係る期首元本額・期中追加設定元本額及び期中一部解約元本額

期首元本額	531,764,335円
期中追加設定元本額	1,085,615円
期中一部解約元本額	1,323,574円

- ・分配金の計算過程

計算期間末に、経費控除後の配当等収益（1,227,083円）（本ファンドに帰属すべき親投資信託の配当等収益を含む）、収益調整金（2,795,042円）及び分配準備積立金（19,891,032円）を対象収益（23,913,157円）として、委託者が基準価額の水準、市況動向等を勘案した結果、配当等収益から1,227,083円、分配準備積立金から101,732円の合計1,328,815円（1万円当たり25円）を分配に充てることに決定しました。

第127期

- ・信託財産に係る期首元本額・期中追加設定元本額及び期中一部解約元本額

期首元本額	531,526,376円
期中追加設定元本額	166,576円
期中一部解約元本額	1,415,193円

- ・分配金の計算過程

計算期間末に、経費控除後の配当等収益（1,245,445円）（本ファンドに帰属すべき親投資信託の配当等収益を含む）、収益調整金（2,794,961円）及び分配準備積立金（19,737,612円）を対象収益（23,778,018円）として、委託者が基準価額の水準、市況動向等を勘案した結果、配当等収益から1,245,445円、分配準備積立金から80,249円の合計1,325,694円（1万円当たり25円）を分配に充てることに決定しました。

第128期

- ・信託財産に係る期首元本額・期中追加設定元本額及び期中一部解約元本額

期首元本額	530,277,759円
期中追加設定元本額	140,322円
期中一部解約元本額	11,934円

- ・分配金の計算過程

計算期間末に、経費控除後の配当等収益（1,094,857円）（本ファンドに帰属すべき親投資信託の配当等収益を含む）、収益調整金（2,800,954円）及び分配準備積立金（19,656,929円）を対象収益（23,552,740円）として、委託者が基準価額の水準、市況動向等を勘案した結果、配当等収益から1,094,857円、分配準備積立金から231,158円の合計1,326,015円（1万円当たり25円）を分配に充てることに決定しました。

第129期

- ・信託財産に係る期首元本額・期中追加設定元本額及び期中一部解約元本額

期首元本額	530,406,147円
期中追加設定元本額	1,045,923円
期中一部解約元本額	2円

- ・分配金の計算過程

計算期間末に、経費控除後の配当等収益（1,420,911円）（本ファンドに帰属すべき親投資信託の配当等収益を含む）、収益調整金（2,847,167円）及び分配準備積立金（19,425,771円）を対象収益（23,693,849円）として、委託者が基準価額の水準、市況動向等を勘案した結果、配当等収益から1,328,630円（1万円当たり25円）を分配に充てることに決定しました。

第130期

- ・信託財産に係る期首元本額・期中追加設定元本額及び期中一部解約元本額

期首元本額	531,452,068円
期中追加設定元本額	151,869円
期中一部解約元本額	150円

- ・分配金の計算過程

計算期間末に、経費控除後の配当等収益（1,168,639円）（本ファンドに帰属すべき親投資信託の配当等収益を含む）、収益調整金（2,853,694円）及び分配準備積立金（19,518,047円）を対象収益（23,540,380円）として、委託者が基準価額の水準、市況動向等を勘案した結果、配当等収益から1,168,639円、分配準備積立金から160,370円の合計1,329,009円（1万円当たり25円）を分配に充てることに決定しました。

損保ジャパン高金利外国債券マザーファンド：参考情報

当ファンド（損保ジャパン高金利外国債券オープン（毎月分配型））が投資対象としている「損保ジャパン高金利外国債券マザーファンド」の計算期間と当ファンドの計算期間とは異なります。

本情報は、損保ジャパン高金利外国債券オープン（毎月分配型）の計算期間中におけるマザーファンドの状況を参考として掲載するものです。当該マザーファンドの直近決算の運用状況につきましては、後掲のマザーファンド運用報告書をご参照下さい。

■損保ジャパン高金利外国債券マザーファンドにおける主要な売買銘柄

○公社債

（2017年11月25日から2018年5月24日まで）

第 125 期		～	第 130 期		
買	付		売	付	
銘	柄	金 額	銘	柄	金 額
		千円			千円
US TREASURY N/B 7.625%	2025/02/15	79,249	US TREASURY N/B 8.125%	08/15/19	54,664
AUSTRALIAN GOVT. 5.75%	2022/07/15	13,566			
UK TREASURY 6.0	2028/12/07	11,232			
POLAND GOVT BOND 5.75	2022/09/23	11,088			

（注1）金額は受渡代金（経過利子分は含まれておりません）。

（注2）単位未満は切捨て。

（注3）邦貨換算金額は月中の取引を各月末のわが国の対顧客電信売買相場の仲値により、邦貨換算したものです。

■組入資産の明細

下記は損保ジャパン高金利外国債券マザーファンド（559,722千口）の内容です。

○外国（外貨建）公社債

（2018年5月24日現在）

区 分	額 面 金 額	第 130 期		組 入 比 率	う ち B B 格 以 下 組 入 比 率	末			
		評 価 額				残 存 期 間 別 組 入 比 率			
		外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額			5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満	
ア メ リ カ	千アメリカ・ドル 1,989	千アメリカ・ドル 2,399	千円 263,164	% 37.5	% —	% 28.3	% 9.2	% —	
オーストラリア	千オーストラリア・ドル 1,395	千オーストラリア・ドル 1,562	129,594	18.5	—	—	18.5	—	
イギリス	千イギリス・ポンド 560	千イギリス・ポンド 755	110,673	15.8	—	10.2	5.6	—	
ポーランド	千ポーランド・ズロチ 1,380	千ポーランド・ズロチ 1,532	45,738	6.5	—	—	4.4	2.2	
ユ ー ロ	千ユーロ	千ユーロ							
	オランダ	50	59	7,581	1.1	—	—	1.1	—
	フランス	351	496	63,779	9.1	—	6.8	2.3	—
イタリア	190	202	25,965	3.7	—	—	—	3.7	
ユーロ小計	591	758	97,326	13.9	—	6.8	3.3	3.7	
合 計	—	—	646,497	92.1	—	45.3	40.9	5.9	

（注1）邦貨換算金額は期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により、邦貨換算したものです。

（注2）組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

（注3）当マザーファンドは、第130期末において、株式及び新株予約権証券の組入れはありません。

（注4）額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

○外国（外貨建）公社債銘柄別

（2018年5月24日現在）

区 分	銘 柄	種 類	年 利 率	額 面 金 額	評 価 額		償 還 年 月 日
					外 貨 建 金 額	邦 貨 建 金 額	
ア メ リ カ	US TSY BOND23/08	国債証券	6.2500	千アメリカ・ドル 750	千アメリカ・ドル 874	千円 95,873	2023/08/15
	US TREASURY N/B 7.875 2021/02/15	国債証券	7.8750	170	193	21,215	2021/02/15
	US TREASURY N/B 7.625 2022/11/15	国債証券	7.6250	60	72	7,915	2022/11/15
	US TREASURY N/B 8.0 2021/11/15	国債証券	8.0000	119	139	15,322	2021/11/15
	US TREASURY N/B 8.75 2020/08/15	国債証券	8.7500	160	181	19,886	2020/08/15
	US TREASURY N/B 7.625% 2025/02/15	国債証券	7.6250	730	938	102,950	2025/02/15
通貨小計	6銘柄	—	—	1,989	2,399	263,164	—
オーストラリア	AUSTRALIAN GOVT. 5.75 2021/05/15	国債証券	5.7500	千オーストラリア・ドル 625	千オーストラリア・ドル 688	57,127	2021/05/15
	AUSTRALIAN GOVT. 5.75%2022/07/15	国債証券	5.7500	770	873	72,466	2022/07/15
通貨小計	2銘柄	—	—	1,395	1,562	129,594	—
イギリス	UK TREASURY 6.0 2028/12/07	国債証券	6.0000	千イギリス・ポンド 340	千イギリス・ポンド 487	71,500	2028/12/07
	TREASURY 8.0 2021/06/07	国債証券	8.0000	220	267	39,173	2021/06/07
通貨小計	2銘柄	—	—	560	755	110,673	—
ポーランド	POLAND GOVT BOND 5.75 2022/09/23	国債証券	5.7500	千ポーランド・ズロチ 900	千ポーランド・ズロチ 1,025	30,600	2022/09/23
	POLAND GOVT BOND 5.5% 2019/10/25	国債証券	5.5000	480	507	15,138	2019/10/25
通貨小計	2銘柄	—	—	1,380	1,532	45,738	—
ユ ー ロ (オランダ)	NETHERLANDS GOVT 3.75 2023/01/15	国債証券	3.7500	千ユーロ 50	千ユーロ 59	7,581	2023/01/15
国小計	1銘柄	—	—	50	59	7,581	—
ユ ー ロ (フランス)	FRANCE O. A. T. 8.5 2023/04/25	国債証券	8.5000	87	123	15,855	2023/04/25
	FRANCE O. A. T. 6.0 2025/10/25	国債証券	6.0000	264	373	47,924	2025/10/25
国小計	2銘柄	—	—	351	496	63,779	—
ユ ー ロ (イタリア)	BTPS 4.5 2019/03/01	国債証券	4.5000	40	41	5,315	2019/03/01
	BTPS 4.5 2020/02/01	国債証券	4.5000	150	160	20,650	2020/02/01
国小計	2銘柄	—	—	190	202	25,965	—
ユーロ通貨小計	5銘柄	—	—	591	758	97,326	—
合 計	17銘柄	—	—	—	—	646,497	—

(注1) 邦貨換算金額は期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により、邦貨換算したものです。

(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。



## ■分配金のお知らせ

	第125期	第126期	第127期	第128期	第129期	第130期
1万円当たり分配金（税引前）	25円	25円	25円	25円	25円	25円

### <分配金をお支払いする場合>

- ・分配金は、原則として各決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始しています。

### <分配金を再投資する場合>

- ・お手持り分配金は、各決算日現在の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰り入れて再投資しています。

### <課税上の取扱いについて>

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配金落ち後の基準価額が個別元本と同額の場合または個別元本を上回っている場合は、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配金落ち後の基準価額が個別元本を下回っている場合には、その下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、収益分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・個人の受益者に対する課税  
 税率は普通分配金について、20.315%（所得税及び復興特別所得税15.315%、並びに地方税5%）です。

※上記は源泉徴収時の税率であり、税率は課税方法等により異なる場合があります。

※少額投資非課税制度「愛称：NISA（ニーサ）」をご利用の場合、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得及び譲渡所得が5年間非課税となります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。

※法人の受益者に対する課税は、税率が異なります。

※上記内容は、税法が改正された場合等には変更になることがあります。

※課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家または税務署等にご確認ください。

## ■お知らせ

- 公告の方法を「日本経済新聞に掲載」から「電子公告」へ変更するため、投資信託約款に所要の変更を行いました（2018年1月15日）。
- 受益者の利便性向上のため、投資信託約款の「資金の借入額の限度に関する記載」の変更を行いました（2018年1月15日）。
- 「損保ジャパン高金利外国債券マザーファンド」にて投資対象国の中心とするインデックスの名称がシティ世界国債インデックスからFTSE世界国債インデックスに変更となったことに伴い、投資信託約款に所要の変更を行いました（2018年2月2日）。

# 損保ジャパン高金利外国債券マザーファンド

## 運用報告書

第11期（決算日 2017年11月24日）

<計算期間 2016年11月25日～2017年11月24日>

損保ジャパン高金利外国債券マザーファンドの第11期の運用状況をご報告申し上げます。

### ■当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	無期限
運用方針	信託財産の中長期的成長を目指して、積極的な運用を行います。
主要投資対象	日本を除く世界各国の公社債
主な組入制限	外貨建資産への投資割合には制限を設けません。

### ■最近10期の運用実績

決 算 期	基 準	価 額		債 券 組 入 率	純 資 産 額
		期 騰 落	中 率		
	円		%	%	百万円
2期（2008年11月25日）	7,990	△17.1		97.4	475
3期（2009年11月24日）	8,766	9.7		96.9	518
4期（2010年11月24日）	8,679	△1.0		96.5	466
5期（2011年11月24日）	8,382	△3.4		97.1	424
6期（2012年11月26日）	9,675	15.4		96.1	464
7期（2013年11月25日）	11,699	20.9		96.0	544
8期（2014年11月25日）	13,680	16.9		93.9	614
9期（2015年11月24日）	13,541	△1.0		92.4	655
10期（2016年11月24日）	12,229	△9.7		89.9	626
11期（2017年11月24日）	12,910	5.6		90.2	690

(注1) 基準価額は1万口当たり（以下同じ）。

(注2) 当ファンドは、主として北米（米国、カナダ）、欧州、アジア/オセアニア（日本を除く）の国債、州政府債、政府保証債、政府系機関債、国際機関債等に分散投資を行うファンドです。そのため、当ファンドのコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

## ■当期中の基準価額と市況等の推移

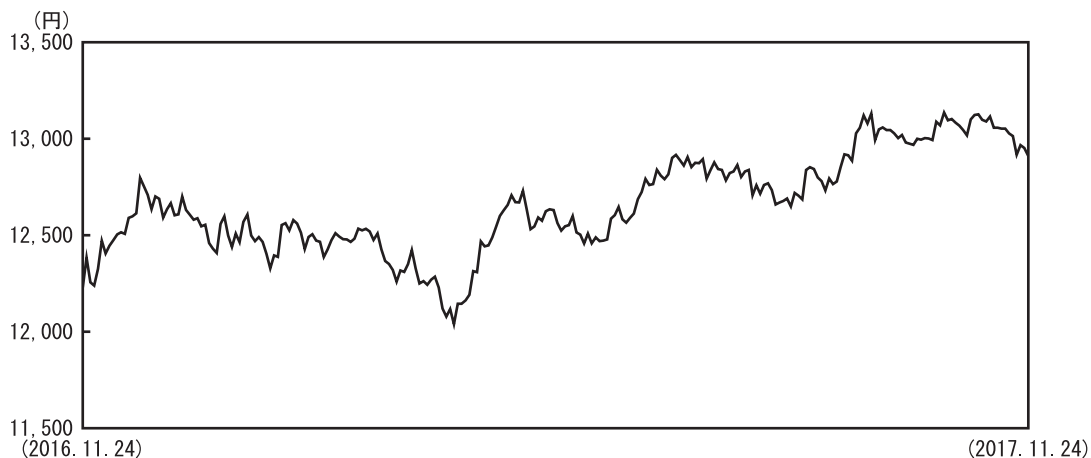
年 月 日	基 準	価 額		債 券 組 入 比 率
		騰	落 率	
(期 首) 2016年11月24日	円	12,229	% —	% 89.9
11月末		12,325	0.8	90.5
12月末		12,608	3.1	90.6
2017年1月末		12,498	2.2	90.3
2月末		12,426	1.6	90.0
3月末		12,423	1.6	89.3
4月末		12,447	1.8	88.7
5月末		12,546	2.6	92.9
6月末		12,760	4.3	92.6
7月末		12,784	4.5	92.2
8月末		12,852	5.1	95.2
9月末		13,045	6.7	93.7
10月末		13,017	6.4	91.7
(期 末) 2017年11月24日		12,910	5.6	90.2

(注1) 騰落率は期首比。

(注2) 当ファンドは、主として北米（米国、カナダ）、欧州、アジア／オセアニア（日本を除く）の国債、州政府債、政府保証債、政府系機関債、国際機関債等に分散投資を行うファンドです。そのため、当ファンドのコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

## 運用経過

### ■ 基準価額の推移



期首 : 12,229円  
 期末 : 12,910円  
 騰落率 : 5.6%

### ■ 基準価額の主な変動要因

ユーロやポンドが、円に対して上昇したことを主因に、騰落率はプラスとなりました。

## ■投資環境

### 【債券市場】

#### ○米国債券市場

当期末の利回りは前期末と比べて概ね同水準となりました。

トランプ政権の先行き不透明感が継続する中、期待インフレ率が低迷したことや北朝鮮を巡る地政学リスクが高まったことを受けて、9月上旬にかけて、米国債券の利回りは低下傾向となりました。しかし、その後は、年内の利上げ観測が高まったことやトランプ政権の税制改革案への期待感から、利回りは上昇に転じました。

#### ○英国債券市場

当期末の利回りは前期末と比べて低下しました。

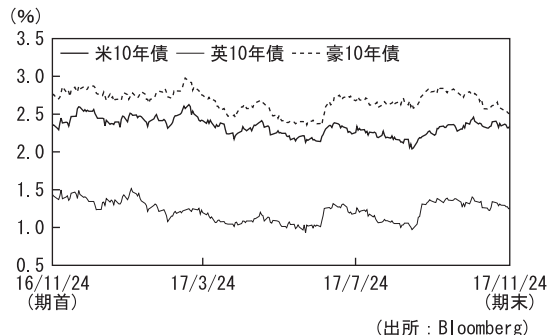
9月上旬にかけては、欧米債券の利回りの低下を受けて、英国債券の利回りは低下傾向となりました。しかし、その後は、BOE（イングランド銀行）による早期利上げ観測が高まったことから、英国債券の利回りの低下は一服しました。

#### ○豪州債券市場

当期末の利回りは前期末と比べて低下しました。

6月下旬にかけては、欧米債券の利回りの低下を受けて、豪州債券の利回りは低下傾向となりました。その後は、RBA（オーストラリア準備銀行）の早期利上げ観測に振らされる展開となり、方向感に欠ける動きとなりました。

主要各国利回りの推移



## 【為替市場】

## ○ドル円市場

当期末は前期末に比べて概ね同水準となりました。

トランプ政権の先行き不透明感や北朝鮮を巡る地政学リスクが高まったことを受けて、9月上旬にかけて円高ドル安が進みました。しかし、その後は、年内の利上げ観測が高まったことやトランプ政権の税制改革案への期待感から、米国金利が上昇傾向となったことを受けて、ドルが買い戻されました。

## ○ポンド円市場

当期末は前期末に比べて円安ポンド高となりました。

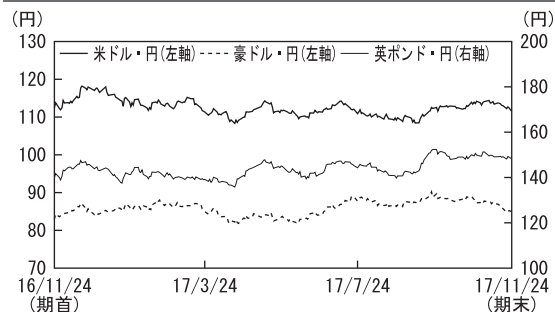
9月上旬にかけては、方向感に欠ける動きとなりましたが、その後は、BOE（イングランド銀行）による早期利上げ観測が高まったことから、円安ポンド高が進みました。

## ○豪ドル円市場

当期末は前期末に比べて概ね同水準となりました。

6月上旬にかけては、主要輸出産品である鉄鉱石価格が下落したことを受けて、円高豪ドル安傾向となりました。その後は、鉄鉱石価格が底打ちしたことや堅調な雇用環境を受けて、豪ドルは上昇しました。

為替レートの推移

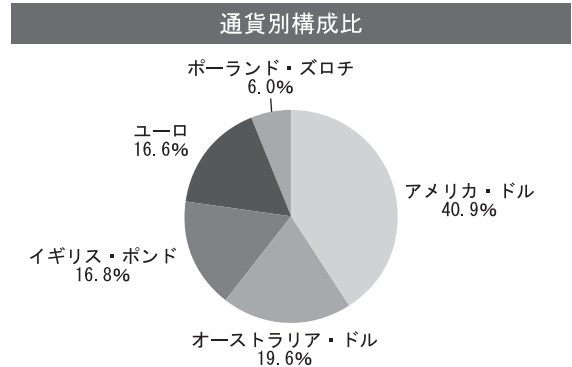


(出所：Bloomberg)

(注) 為替レートは対顧客電信売買相場の仲値を使用しております。

## ■当該投資信託のポートフォリオ

債券の組入れにつきましては、米国を中心とした北米を40%程度、英国を中心とした欧州を40%、豪州を中心としたアジア／オセアニアを20%程度として、分散投資を意識したポートフォリオ構成としました。



(注1) 比率は、第11期末における組入債券評価額に対する割合。  
 (注2) 端数処理の関係上、構成比合計が100%とならない場合があります。

## ■当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドは、主として北米（米国、カナダ）、欧州、アジア／オセアニア（日本を除く）の国債、州政府債、政府保証債、政府系機関債、国際機関債等に分散投資を行うファンドです。そのため、当ファンドのコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

## ■今後の運用方針

今後も、インカムゲインを重視しつつ、投資妙味が高いと考えられる銘柄の組入れにより、中長期的なトータルリターンの上を目指します。

国別配分では、相対的に投資魅力が高いと考える、米国や英国、豪州のウェイトを高位に保ち、引き続き分散投資を行う方針です。

**■ 1万口当たりの費用明細**

(2016年11月25日から2017年11月24日まで)

項 目	
そ の 他 費 用 (保 管 費 用)	11円 (11)
(そ の 他)	( 0)
合 計	11

(注) 1万口当たりの費用明細は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。なお、費用項目については10ページ(1万口当たりの費用明細の項目の概要)をご参照ください。

**■ 売買及び取引の状況**
**○ 公社債**

(2016年11月25日から2017年11月24日まで)

			買 付 額	売 付 額
外	ア メ リ カ	国 債 証 券	千アメリカ・ドル 362	千アメリカ・ドル — ( —)
	オーストラリア	国 債 証 券	千オーストラリア・ドル 70	千オーストラリア・ドル — ( —)
	イギリス	国 債 証 券	千イギリス・ポンド 167	千イギリス・ポンド 131 ( —)
	ポーランド	国 債 証 券	千ポーランド・ズロチ 688	千ポーランド・ズロチ — ( —)
国	ユ ー ロ		千ユーロ	千ユーロ
	ベルギー	国 債 証 券	—	65 ( —)
	フランス	国 債 証 券	58	— ( —)
	イタリア	国 債 証 券	—	106 ( —)
	ユーロ通貨計	国 債 証 券	58	172 ( —)

(注1) 金額は受渡代金(経過利子分は含まれておりません)。

(注2) ( ) 内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 社債券には新株予約権付社債(転換社債)は含まれておりません。

(注4) 単位未満は切捨て。



**■主要な売買銘柄**
**○公社債**

(2016年11月25日から2017年11月24日まで)

当			期		
買		付	売		付
銘	柄	金額	銘	柄	金額
		千円			千円
US TREASURY N/B 7.625%	2025/02/15	27,646	TREASURY 8.75	2017/08/25	18,671
UK TREASURY 6.0	2028/12/07	23,781	BTPS 4.5	2019/03/01	14,213
POLAND GOVT BOND 5.75	2022/09/23	21,257	BELGIAN 0300 5.5	2017/09/28	8,590
US TSY BOND 23/08/15		12,429			
FRANCE O. A. T. 6.0	2025/10/25	7,220			
AUSTRALIAN GOVT. 5.75%	2022/07/15	5,837			

(注1) 金額は受渡代金(経過利子分は含まれておりません)。

(注2) 単位未満は切捨て。

(注3) 邦貨換算金額は月中の取引を各月末のわが国の対顧客電信売買相場の仲値により、邦貨換算したものです。

**■利害関係人との取引状況 (2016年11月25日から2017年11月24日まで)**

当ファンドにおける当期中の利害関係人との取引はございません。

**■組入資産の明細**

下記は損保ジャパン高金利外国債券マザーファンド(534,826千口)の内容です。

**○外国(外貨建)公社債**

(2017年11月24日現在)

区 分	額 面 金 額	当		期		末		
		評 価 額		組 入 比 率	う ち B B 格 以 下 組 入 比 率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
		外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額			5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満
ア メ リ カ	千アメリカ・ドル 1,899	千アメリカ・ドル 2,287	千円 254,934	% 36.9	% —	% 18.8	% 9.9	% 8.2
オーストラリア	千オーストラリア・ドル 1,260	千オーストラリア・ドル 1,440	122,365	17.7	—	—	17.7	—
イギリス	千イギリス・ポンド 510	千イギリス・ポンド 707	104,835	15.2	—	9.2	6.0	—
ポーランド	千ポーランド・ズロチ 1,080	千ポーランド・ズロチ 1,201	37,674	5.5	—	—	3.1	2.3
ユ ー ロ	千ユーロ	千ユーロ						
	オランダ 50	60	7,963	1.2	—	1.2	—	—
	フランス 351	513	67,695	9.8	—	9.8	—	—
イタリア	190	207	27,436	4.0	—	—	3.2	0.8
ユーロ小計	591	781	103,096	14.9	—	11.0	3.2	0.8
合 計	—	—	622,906	90.2	—	39.0	39.9	11.4

(注1) 邦貨換算金額は期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により、邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注3) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(注4) 当マザーファンドは、当期末において、株式及び新株予約権証券の組入れはありません。

## ○外国（外貨建）公社債銘柄別

(2017年11月24日現在)

区 分	銘 柄	種 類	年 利 率	額 面 金 額	評 価 額		償 還 年 月 日
					外 貨 建 金 額	邦 貨 建 金 額	
ア メ リ カ	US TSY BOND23/08	国債証券	% 6.2500	千アメリカ・ドル 750	千アメリカ・ドル 917	千円 102,262	2023/08/15
	US TREASURY N/B 8.125% 08/15/19	国債証券	8.1250	460	510	56,880	2019/08/15
	US TREASURY N/B 7.875 2021/02/15	国債証券	7.8750	170	202	22,531	2021/02/15
	US TREASURY N/B 7.625 2022/11/15	国債証券	7.6250	60	75	8,447	2022/11/15
	US TREASURY N/B 8.0 2021/11/15	国債証券	8.0000	119	146	16,336	2021/11/15
	US TREASURY N/B 8.75 2020/08/15	国債証券	8.7500	160	189	21,131	2020/08/15
	US TREASURY N/B 7.625% 2025/02/15	国債証券	7.6250	180	245	27,344	2025/02/15
通貨小計	7銘柄	—	—	1,899	2,287	254,934	—
オーストラリア	AUSTRALIAN GOVT. 5.75 2021/05/15	国債証券	5.7500	千オーストラリア・ドル 625	千オーストラリア・ドル 703	59,781	2021/05/15
	AUSTRALIAN GOVT. 5.75%2022/07/15	国債証券	5.7500	635	736	62,584	2022/07/15
通貨小計	2銘柄	—	—	1,260	1,440	122,365	—
イギリス	UK TREASURY 6.0 2028/12/07	国債証券	6.0000	千イギリス・ポンド 290	千イギリス・ポンド 430	63,738	2028/12/07
	TREASURY 8.0 2021/06/07	国債証券	8.0000	220	277	41,096	2021/06/07
通貨小計	2銘柄	—	—	510	707	104,835	—
ポーランド	POLAND GOVT BOND 5.75 2022/09/23	国債証券	5.7500	千ポーランド・ズロチ 600	千ポーランド・ズロチ 686	21,514	2022/09/23
	POLAND GOVT BOND 5.5% 2019/10/25	国債証券	5.5000	480	515	16,159	2019/10/25
通貨小計	2銘柄	—	—	1,080	1,201	37,674	—
ユ ー ロ (オランダ)	NETHERLANDS GOVT 3.75 2023/01/15	国債証券	3.7500	千ユーロ 50	千ユーロ 60	7,963	2023/01/15
国小計	1銘柄	—	—	50	60	7,963	—
ユ ー ロ (フランス)	FRANCE O. A. T. 8.5 2023/04/25	国債証券	8.5000	87	127	16,876	2023/04/25
	FRANCE O. A. T. 6.0 2025/10/25	国債証券	6.0000	264	385	50,819	2025/10/25
国小計	2銘柄	—	—	351	513	67,695	—
ユ ー ロ (イタリア)	BTPS 4.5 2019/03/01	国債証券	4.5000	40	42	5,601	2019/03/01
	BTPS 4.5 2020/02/01	国債証券	4.5000	150	165	21,835	2020/02/01
国小計	2銘柄	—	—	190	207	27,436	—
ユーロ通貨小計	5銘柄	—	—	591	781	103,096	—
合 計	18銘柄	—	—	—	—	622,906	—

(注1) 邦貨換算金額は期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により、邦貨換算したものです。

(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

**■投資信託財産の構成**

(2017年11月24日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公 社 債	622,906	90.2
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	67,578	9.8
投 資 信 託 財 産 総 額	690,484	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 当期末における外貨建資産(644,244千円)の投資信託財産総額(690,484千円)に対する比率は、93.3%です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

なお、当期末における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=111.47円、1オーストラリア・ドル=84.92円、1イギリス・ポンド=148.22円、1ポーランド・ズロチ=31.35円、1ユーロ=131.95円です。

**■資産、負債、元本および基準価額の状況**

(2017年11月24日現在)

項 目	当 期 末
a 資産	690,484,962円
コール・ローン等	58,520,346
公社債(評価額)	622,906,377
未收利息	9,029,138
前払費用	29,101
b 負債	—
c 純資産総額(a - b)	690,484,962
元本	534,826,798
次期繰越損益金	155,658,164
d 受益権総口数	534,826,798口
1万口当たり基準価額(c / d)	12,910円

(注1) 信託財産に係る期首元本額512,484,824円、期中追加設定元本額75,441,180円、期中一部解約元本額53,099,206円

(注2) 期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託ごとの元本の内訳

 損保ジャパン高金利外国債券オープン (毎月分配型)  
304,166,497円

イオン好配当グリーン・バランス・オープン

230,660,301円

(注3) 期末における1口当たりの純資産総額 1.2910円

**■損益の状況**

(2016年11月25日から2017年11月24日まで)

項 目	当 期
a 配当等収益	31,818,155円
受取配当金	31,840,321
支払利息	△ 22,166
b 有価証券売買損益	3,390,985
売買益	25,479,430
売買損	△ 22,088,445
c 信託報酬等	△ 585,574
d 当期損益金(a + b + c)	34,623,566
e 前期繰越損益金	114,246,572
f 解約差損益金	△ 13,910,794
g 追加信託差損益金	20,698,820
h 合計(d + e + f + g)	155,658,164
次期繰越損益金(h)	155,658,164

(注1) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 信託報酬等には、消費税相当額を含めて表示しております。

(注3) 解約差損益金とは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 追加信託差損益金とは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

**■お知らせ**

○信用リスク集中回避のための投資制限に関する記載を追加するため、投資信託約款に所要の変更を行いました(2017年6月1日)。